



葛巻神楽
ドイツ公演

ドイツと日本が ひとつになった



バード・デュルクハイム市のシンボル、夫樽レストラン前で達成感に満ちあふれた生徒たち



日本刀を持って踊るドイツの学生たち



太鼓を奏しそうにたたくドイツの女子



拍手がしばらく鳴り止まず喝采を受ける



岩手の代表として義援金を受け取る觸澤 義美



海外では珍しい日本刀を手に華麗に舞う三宝荒神

今回は、10日間のドイツ訪問でありましたが、その中で日本独特の伝統文化「葛巻神楽の公演」4回は、大舞台上で勇壮な躍動感あふれる舞が観客を魅了し、ドイツの皆さんに感動を与え、日本の伝統文化に理解を深めると共に、興味と関心を持っていただくことができました。

ドイツの皆さんからは、東日本大震災と福島原発事故により壊滅的な被害を受け、日本中が深い悲しみに包まれている中での神楽のドイツ公演に対し、大変感謝され、多くの皆さまから温かい声援、励ましの言葉をいただきました。

特に、今回の葛巻神楽の公演は「日本の神様は元気に舞い“頑張っている日本”という、震災から復興に向かう力強いメッセージである」と受け止めていただき、各会場とも拍手やアンコールが鳴りやまず、遠く離れていても、人と人のつながり、心が一つの思いを強くいたしました。

また、ドイツ最後の夜の交流会には、多くの市民のほかフォークダンスクラブ、フランクフルトから重枝総領事ご夫妻、在独日本人10人ほどが浴衣姿で会場に駆け付けていただきました。その中で、東日本大震災の被災地に思いを込めて、東京音頭、相馬盆唄、斉太郎節などを踊ってください、またこちらの盆踊り（ナニヤドヤラ）を一緒になって踊り、大変盛り上がりドイツと日本が、ひとつとなった交流会となり、我々も深い感銘を受けて参りました。

ルツ市長からは、今回の訪問は忘れることのできない強い印象を残し、2つの町の友好の中で、頂点として記憶に残るものであるとの言葉をいただきました。

最後に、葛巻町とバード・デュルクハイム市民ボランティアの皆さんには、交流1回目から受け入れにお世話になっておりますが、今回のドイツ公演でも事前調整からお世話になり成功裡に終了できましたことに感謝申し上げ、ご報告といたします。

葛巻神楽ドイツ公演訪問団
団長(副町長) 觸澤 義美

葛巻神楽保存会
会長 遠藤 勝広 さん

出 発前から町の皆さんには、たくさん激励の言葉をかけていただき、ありがとうございました。ドイツでの公演はどの会場でも大きな拍手やアンコールをいただき本当に感動しました。

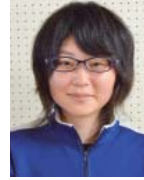
ドイツの生徒たちにも、神楽の太鼓や扇子などに触れ体験してもらい、とても喜ばれました。郷土芸能部の生徒たちは、このドイツ訪問を通じて一回りも二回りも大きく成長したと思います。このようなチャンスを与えていただき、本当に感謝でいっぱいです。



葛巻高校郷土芸能部
部長 千葉 菜月 さん

私 たち郷土芸能部はとても貴重な経験をさせていただきました。部活動で海外に行けるチャンスはあまりないと思います。

4回の公演やホームステイは、正直不安でいっぱいでした。本番の公演ではたくさんの拍手やアンコール、応援の言葉をいただくことができ、日本とドイツがひとつになったような気がしてとてもうれしかったです。ホームステイでは、下手な英語ながらコミュニケーションをとることができ良かったです。とても充実した10日間でした。



8月8日、ブンデスガールデンショーでの公演では、獅子頭を持って激しく演舞する「権現舞」と、日本刀を手にした3人が輪をつくって円舞する「三宝荒神」を披露。激しい舞いで、演技のあと肩で息をし、「ありがとうございます」と締めめのあいさつをすると、地鳴りのするような拍手喝采を浴び、ドイツと日本がひとつになったと感じられた瞬間でした。

ドイツのバード・デュルクハイム市と葛巻町との交流は、ワインの取り持つ縁で平成14年から始まりました。平成16年からは魅力ある高校づくりと国際感覚を持った人材育成を狙いに、葛巻高校の生徒を派遣し、今年で10年という節目の年となりました。

葛巻神楽のドイツ公演は、こうした長年の取り組み、交流が評価され、ドイツ・在フランクフルト総領事から岩手県を通して招請があり実現しました。

被災地への義援金 受け取る

訪問団は公演のほか、ラインラント・プファルツ州ベック首相から岩手県の被災地へ向けた義援金を託されました。ルツ市長とフランクフルト総領事への表敬訪問や、バード・デュルクハイムの市民団体の皆さんとの交流を深めました。

4回の公演で、生徒たちは疲れを見せることなく素晴らしい葛巻神楽を演じました。日本文化を披露する公演で、「震災に負けない日本、頑張る日本」を印象づかせ、アンコールの声もかかるなど大盛況のうちに幕を閉じました。

さらに生徒たちはバード・デュルクハイム市で4日間のホームステイを体験。達成感に満ちあふれた表情で帰国しました。

葛巻神楽ドイツ公演訪問団(觸澤義美団長・葛巻高校郷土芸能部員ら15人)は、8月4日〜13日ドイツ・コフレンツ市で開催された歴史ある文化の祭典「ブンデスガーデンショー2011」で日独交流150周年記念に招請があり葛巻神楽を披露しました。またバード・デュルクハイム市でも友好公演を行い、遠く離れたドイツの地に日本の伝統文化、葛巻神楽を広く伝えてきました。